

EducolT

～ 読み書き算に続く第4の能力教育

ACROSS

吉崎未希子
森田廣一

EducolTの特徴

1. 「情報をどうするのか」を明確にする
訓練をしながら、その中で
コンピュータを使っていく学び方
 2. コンピュータの構造と動き方の原理を
体系的に学び、自分のイメージした通りに
動作させることができるようになる学び方
-

EducoITの体系

第 段階	コンピュータの限界と長所・性質を学び、人間側の「情報をどうするのか」という意図が、最も大切であることに気づく。
第 段階	ますます拡大するコンピュータやネットワークの機能を根本原理から学び、それらを使いこなせるようになる。 課題の外側ではなく、内側に自分自身を置いて情報を扱う習慣をつける。
第 段階	人間の使命について考え、自分のビジョンをつくり、実現のためのプランをつくり、グループで課題に取り組む。

レクチャーの例

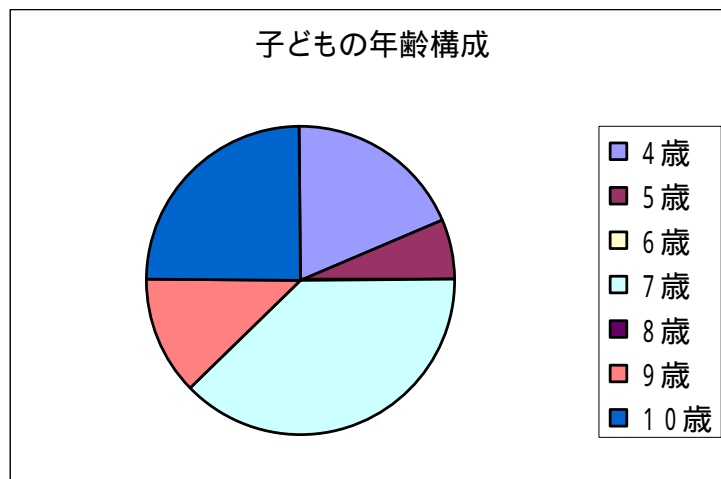
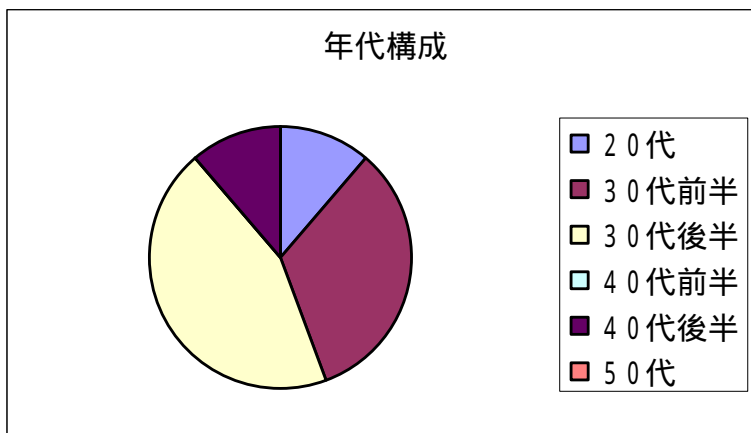
ポイント1

人間が意図を持ってコンピュータを使うことが大切

ポイント2

コンピュータはどのようにして計算するか
(動作の原理を知る)

実験結果



難易度

易しい	7
難しい	1
どちらでもない	1
無回答	0

感想

面白い	7
面白くない	0
どちらでもない	2
無回答	0

今後の課題

- ◆ サンプル数を増やし、モニタリングを続けること
- ◆ 新しい能力教育としての効果測定(方法も含む)
 - ・ トラブル解決
 - ・ 原因予測
 - ・ 調査、検索、考察等の総合的問題解決力

など